

# 眼科医が発見できる 小児心身症

蕨眼科  
河鍋 楠美

2012年11月10日(土) 全国学校保健学校医大会

## はじめに

眼科医は、自殺を  
防ぐことはできるのか

→ 出来る

それ以前に察知する  
ことが出来ないだろうか

→ 出来る

# 方法

1.
  - ・学校からの報告による自覚的裸眼視力成績
  - ・他覚的屈折度測定による結果を比較検討
2. 学童検診システム(1990)を用いて集計
3. 観察年限 1988年から1996年(9年間)  
(学年別、男女別)

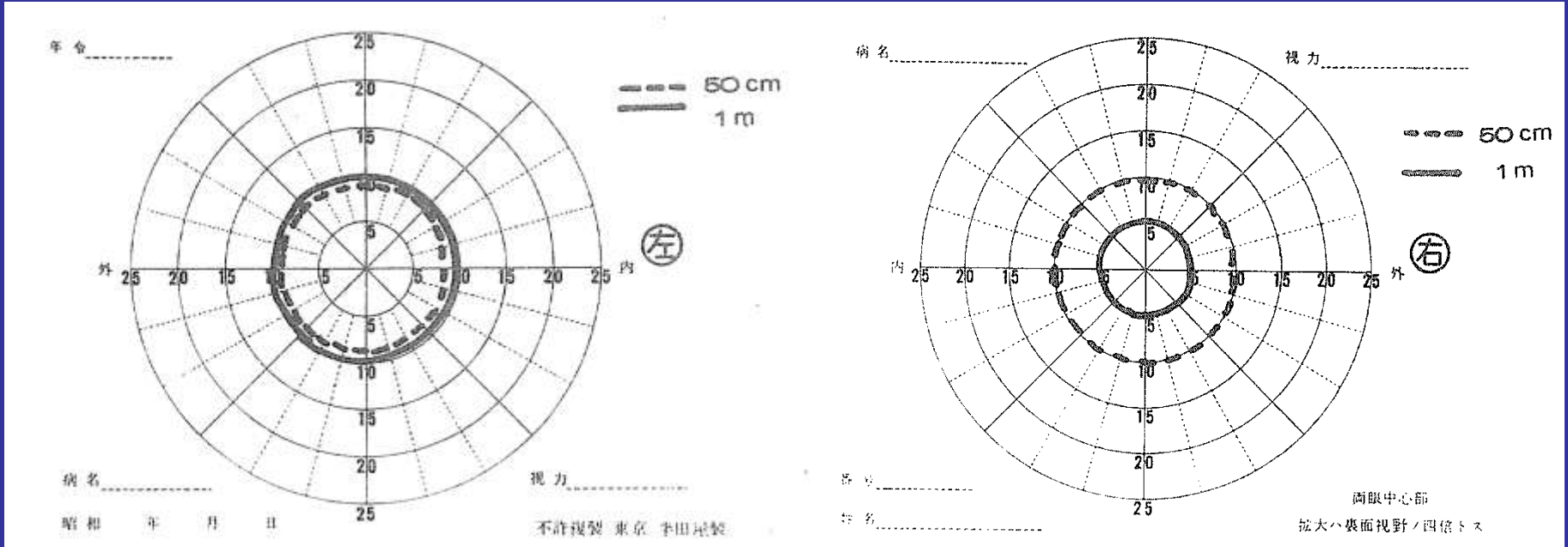
# 対象

小学校	男子	女子	計
・低学年	3,456	3,272	6,728
・高学年	3,017	2,768	5,790
小計	6,478	6,040	12,518
中学校	3,150	3,104	6,254
合計	9,628	9,144	18,772

# 心身症を見つける方法

1. 視力検査 → レンズ交換法
2. 眼底検査 異常なし
3. 視野検査 → ( 管状視野  
ラセン状視野

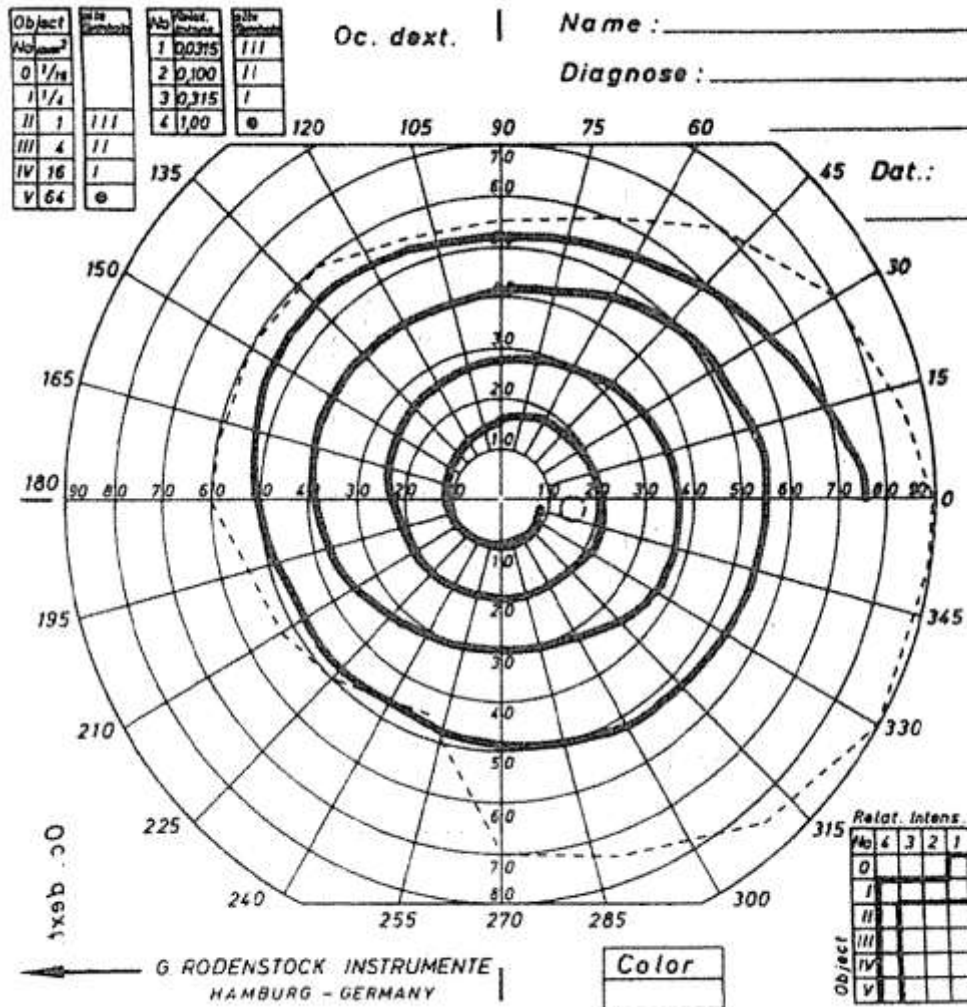
# 心身症の管状視野



50cm・1mが同円

50cmより1mの方が小円（視野の誇張型）

# 心身症のラセン状視野



# 心身症を見つける方法

- |         |       |                              |
|---------|-------|------------------------------|
| 1. 視力検査 | ————→ | レンズ交換法                       |
| 2. 眼底検査 |       |                              |
| 3. 視野検査 | ————→ | （管状視野<br>ラセン状視野              |
| 4. 問診   | アンケート |                              |
|         | 個別面談  | 児童 1.5～2.5時間<br>両親 0.5～1.5時間 |



# 心身症の原因

## 1. 家庭事情

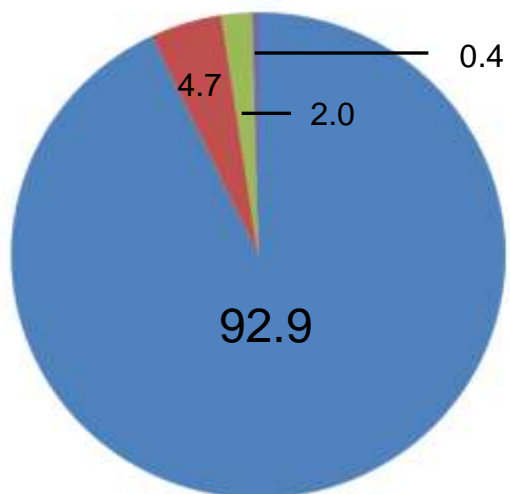
父母、兄弟、姉妹 など

## 2. 学校環境

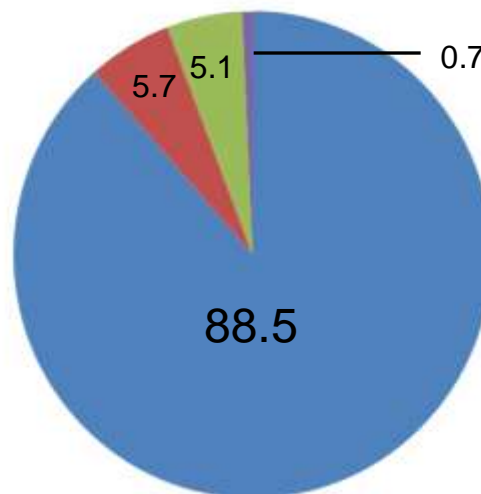
先生・友人関係 いじめ など

年代によってその原因が違ふ

### 小学校低学年(男女)

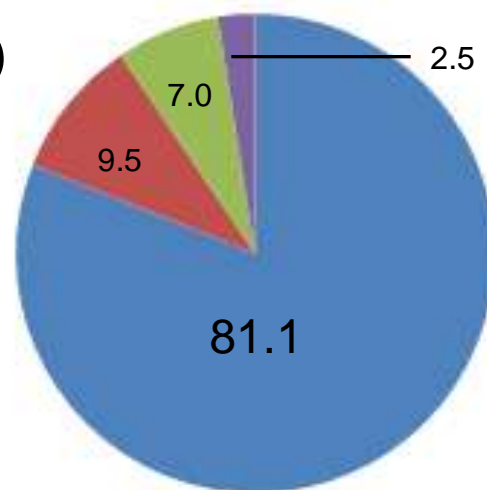


### 小学校高学年(男女)



A  
B  
C  
D  
(%)

### 中学校(男女)

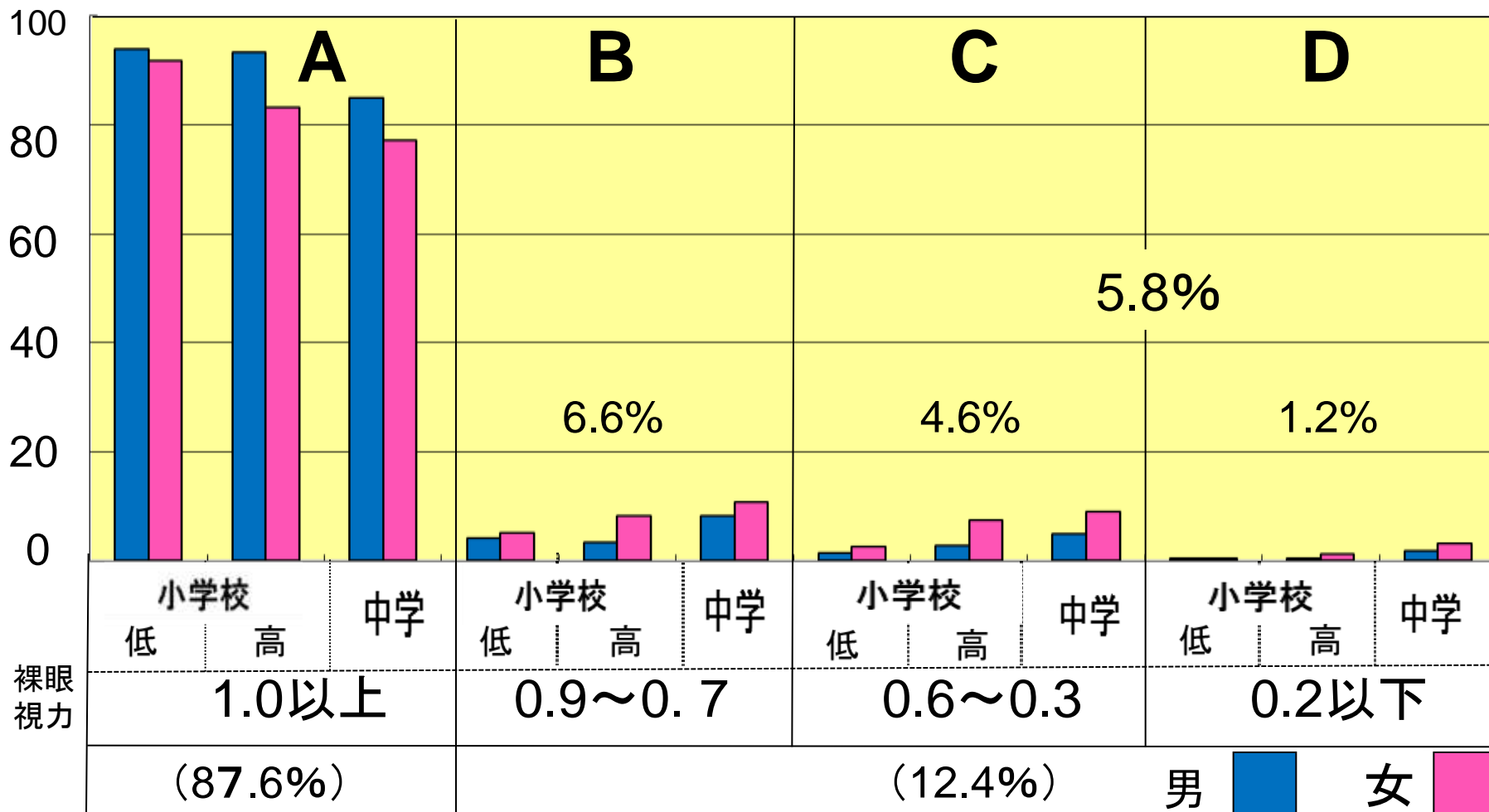


### 対象眼数

小学低	6,728
小学高	5,790
計	12,518
中学	6,254

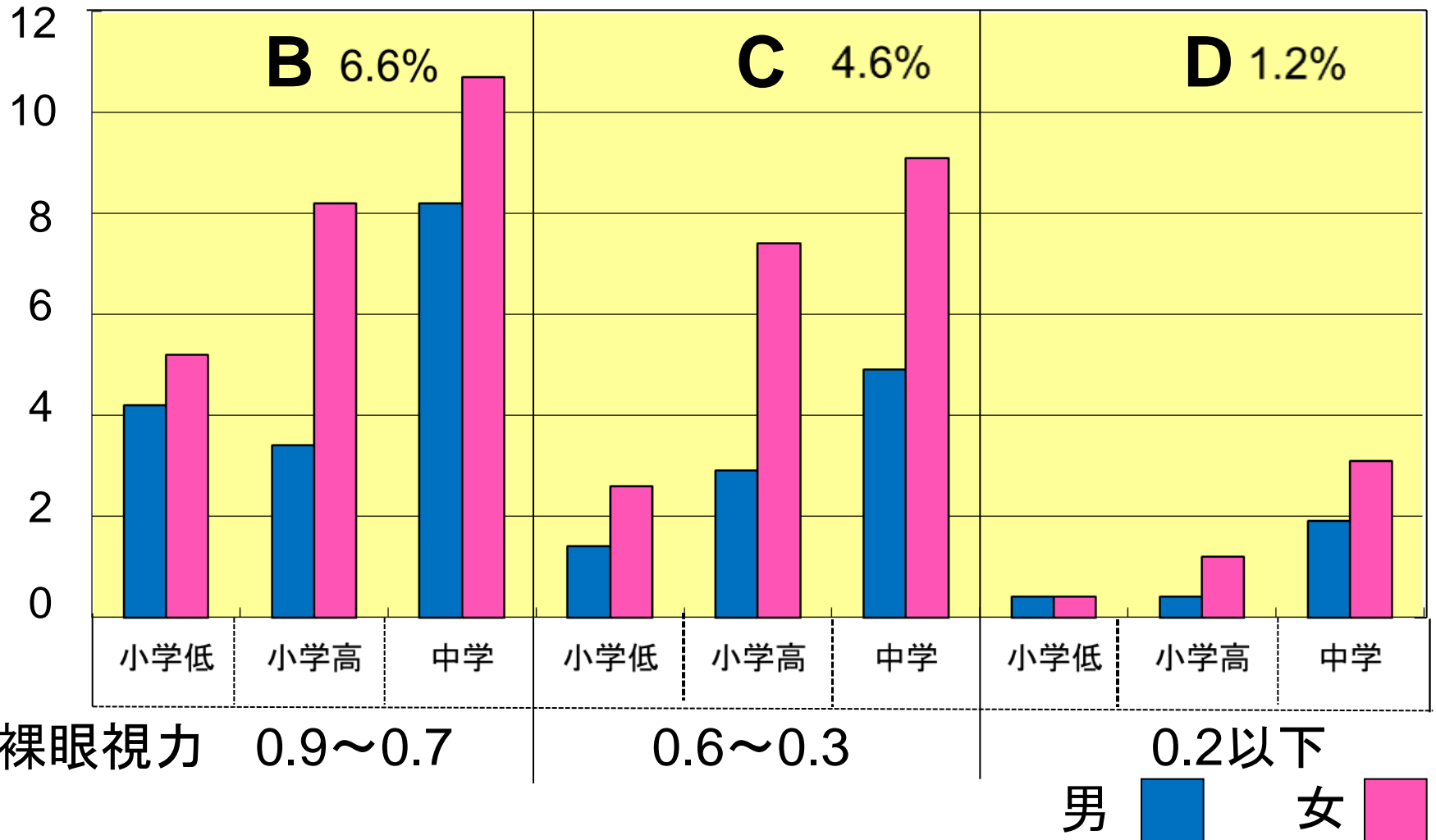
# 裸眼視力 (A・B・C・D) と他覚的屈折値との関係 (小・中学生)

他覚的S値 +0.5 ~ -0.5 (視力1.0以上見えるはず)



# 裸眼視力（B・C・D）と他覚的屈折値との関係（小・中学生）

% S 値 +0.5 ~ -0.5（視力1.0以上見えるはず）



# 対処法

- 他覚的視力検査
- 裸眼視力と他覚的屈折度の相違の発見
- 眼科受診 眼科的検査（視力・眼底・視野検査）
- 問診 原因の探求（児童・保護者・学校側）
- 指導（児童・保護者・学校側）
- 難治の症例 カウンセラー・精神科医の助言

# 結 論

児童生徒の心の病を発見には、他覚的・数値的に掴める眼科検診が有効である。

眼科検診によって、児童生徒の心身症が自殺など深刻な状態に至る以前に発見出来ると確信する。